

第7回愛知県教育委員会教員表彰式の開催について

このことについて、別紙資料に基づき報告します。

平成25年10月15日

教 職 員 課

# 愛知県の誇る優秀教員を表彰します！

～第7回愛知県教育委員会教員表彰式開催～

第7回愛知県教育委員会教員表彰式を下記のとおり開催します。

この表彰は、平成19年度から学校教育において、創意・工夫にあふれ特色ある教育活動を実践し、顕著な成果をあげ他の模範となる教員を表彰することにより、教員の意欲高揚と資質向上及び学校の活性化を図るため、実施しているものです。

## 記

### 1 日 時

平成25年10月16日（水） 午後3時から4時まで

### 2 会 場

愛知県庁本庁舎 2階 講堂

### 3 主 催

愛知県教育委員会

### 4 来 賓

愛知県都市教育長協議会長、愛知県町村教育長協議会長、愛知県立学校長会理事長、愛知県小中学校長会副会長、愛知県国公立幼稚園長会副会長

### 5 被表彰者数

101人（幼稚園関係1人・小中学校関係70人・県立学校関係30人）

### 6 表彰方法

愛知県教育委員会教育長から表彰状を授与

### 7 表彰要件の概要

教職経験年数が10年以上あり、かつ、年齢が35歳以上の者で、次のいずれかに該当する者

- (1) 創意工夫ある教育活動により、顕著な成果をあげた者
- (2) 使命感を持って教育活動の改善に取組み、信頼が厚い者
- (3) 地道な教育活動を継続して行い、他の模範となる者

## 【参考】

### 被表彰者の状況

区 分	候補者数	被表彰者数	表彰該当項目（表彰要綱第2条）		
			1	2	3
幼稚園	4	1	1	0	0
小学校	49	43	8	19	16
中学校	33	27	4	10	13
高等学校	47	22	3	15	4
特別支援学校	27	8	2	5	1
合 計	160	101	18	49	34

（備考）表彰該当項目

- 1 創意工夫ある教育活動により、顕著な成果をあげた者
- 2 使命感を持って教育活動の改善に取り組み、信頼が厚い者
- 3 地道な教育活動を継続して行い、他の模範となる者

各被表彰者の表彰該当項目については名簿に記載

## 主な受賞者の紹介

1 創意工夫ある教育活動により、顕著な成果をあげた者

### ○安城市立さくの幼稚園 教諭 築山 昌代 (名簿番号 1)

子どもが豊かな経験を積み重ね、発達の基礎が培えるよう努力している。子どもの内面を理解し、心から楽しめる遊びの環境を工夫することで、子どもを中心とした保育の実践研究を行っている。

平成 23 年度には安城市教育委員会教育研究論文・個人研究の部において「進んで文字にかかわる子を目指して」を主題とした論文が、最優秀賞を受賞した。さらに同論文は、翌 24 年度第 46 回愛知県教育委員会教育研究論文個人研究の部においても佳作を受賞した。

さくの幼稚園では指導的な役割を果たし、若手職員にアドバイスをしたり、相談にのったりと、教職員の育成にも熱心に取り組んでいる。子どもの遊びを理解し、子どもの興味関心に共感したり認めたりする保育実践は、他の職員の模範である。また、幼児教育への熱心な取組や創意工夫ある保育内容は、子どもの楽しい活動になるとともに、保護者からも厚い信頼を得ている。



「子どもの傍らで楽しい保育を展開する築山教諭」

### ○県立佐屋高等学校 教諭 亀嶋 浩之 (名簿番号 81)



「生徒に稲の収量を説明する亀嶋教諭」

生物生産の指導において、環境に配慮した安全で安心な米の生産とその活用をテーマに、平成 14 年度よりアイガモ農法の実践を始めた。平成 21 年度には生徒とともにアイガモ農法を改良し、アヒル農法に発展させ、生物多様性も踏まえた教育活動を展開してきた。この実践の過程で、農業高校生の全国大会といえる日本学校農業クラブ全国大会において、平成 20 年には意見発表の部、区分環境で

優秀(2位)を獲得、平成 22 年度にはプロジェクト活動の部で、全国大会出場を果たした。また、COP10 では、「生物多様性啓発事業」等のパートナーシップ事業を指導 COP10 の意義並びに農業と環境との関わりを多くの人々にアピールすることができた。そして、今年の「エコワングランプリ」では、これまでの研究活動の集大成を発表し、継続性・独創性・地域への貢献が高く評価され、みごとグランプリである内閣総理大臣賞を受賞することができた。

○**県立一宮養護学校 教諭 山口 美香** (名簿番号 99)



「作業工程を分かりやすく説明する山口教諭」

家庭科の教員として、長年にわたり、授業に生きる教材教具の開発や研究に卓越した指導力を発揮し、研修会で講師を務めるなど高い評価を受けている。平成20年度より、地域の繊維関連機関と連携し、肢体に不自由のある児童生徒にとって着脱しやすく、着心地が楽で、気持ちも楽しくなるような「楽らくスタイル」の開発や制作に熱心に取り組み、多くの衣服や

小物を制作し続けている。こうした取組の成果は全国大会や教育雑誌「特別支援教育」で発表し、本校HPからも紹介している。平成23年度には日本肢体不自由教育研究会から「奨励賞」を受賞した。今年度は本校が県立学校アクティブチャレンジ事業に選ばれ、学校を中心に地域の繊維関連機関や企業の方々の協力を得て、児童生徒が活用できる衣服や小物をみんなで協力して作り上げる取組「みんなプロジェクト」の主務者として活躍中である。

2 使命感を持って教育活動の改善に取り組み、信頼が厚い者

○**豊山町立豊山小学校 養護教諭 岡島 映子** (名簿番号 16)

平成14年度に勤務校が日本学校歯科医師会より「学校歯科保健優良校」を受賞した際の原動力となったり、平成16年度に県学校歯科保健研究大会において実践研究を発表したりして、めざましい活躍をしてきた。歯科保健に関する児童・保護者・教職員への効果的な指導・啓発策を考案し、関係諸機関との連携を密にするなど、申し分ない働きぶりであった。

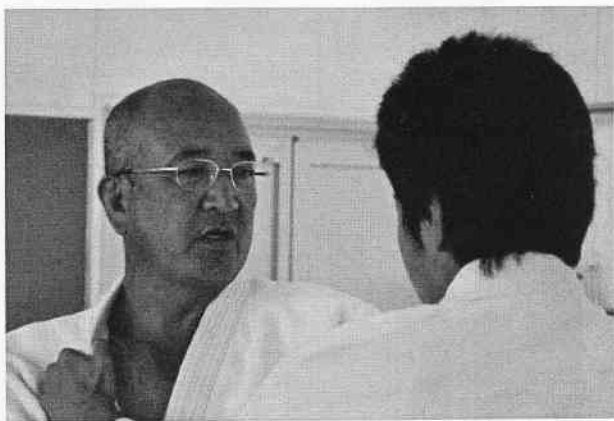


「時事の課題に即時対応し、職員研修を行う岡島教諭」

また、平成18年度より主任養護教諭として、健康診断や感染症・食物アレルギー対策の見直しを積極的に進め、提案・実践に努めることにより、効果的な保健指導体制づくりに寄与している。さらに、保健室訪問を意欲的に行い、養護教諭少経験者に的確な指導を行ったり、改善策を示したりするなど、地区の健康教育推進に大きく貢献している。

誠実で温厚な人柄に加え、常に前向きに努力を重ねる姿勢は、教職員全体の保健指導力を大いに向上させ、学校内外から絶大な信頼を得ている。

○**県立新城東高等学校 教諭 柿原 弘明 (名簿番号 93)**



「熱意溢れる柔道指導する柿原教諭」

長年にわたり、生徒指導主事として「目をかけ、声をかけ、手間をかける」をモットーに、生徒が自ら考え、自ら律し、責任をもって行動することを目指す生徒指導を推進している。生徒の小さな変化を見逃さず指導のタイミングや強弱を考えた適切な指導を行うとともに、生徒とよく対話し理解、納得させたうえでの指導を徹底することで生徒の健全育成に大きな

成果を上げている。平成 24 年度から初任者研修（生徒指導）の講師、平成 21、25 年度には新城市小中高生徒指導連絡協議会事務局長を務めるなど若手教員の育成や地域の生徒指導力の向上にも貢献している。また、新任以来、現在までボランティア活動として地域の柔道指導に携わっており、平成 21、22 年度には愛知県高体連柔道専門部副委員長を務めるなど、専門の柔道競技の発展にも寄与している。教育活動への献身的な取組と包容力のある人柄で学校内外からの信頼が厚い。

3 地道な教育活動を継続して行い、他の模範となる者

○**一宮市立葉栗小学校 教諭 山内 良仁 (名簿番号 3)**

児童生徒の学力向上を図るべく各種研修会に積極的に参加するなどして研鑽を積み、自らの資質の向上に努めてきた。特に算数・数学科の授業改善に向けての姿勢や授業力は高く評価されており、市内のみならず近隣の教育委員会等からも、講師として招聘されている。平成 20 年度から 2 年間は一宮市の教科等指導員を務め、市内の算数・数学科の授業力向上に向けて率先して取り組んでいた。



「校内授業法研究で指導助言する山内教諭」

また、長年自主研修グループの中心となって効果的な指導方法について研究を進めるとともに、後進の育成にも努めている。最近では長年の指導方法をまとめた冊子の編集にかかわり、授業のアイデアを広く公開し、市内全体の授業力向上のために一役を担っていた。現在は、指導的な立場で職場をまとめ、特に若い教師への熱心な指導と共に自身も授業実践の先頭に立って職員を導いている。

○南知多町立日間賀中学校 教諭 竹内 稔博 (名簿番号 55)

平成23年度から、へき地学校特別配置教員として離島の中学校に勤務し、何事も自ら模範を示す前向きな姿勢や真摯な態度は、生徒はもちろん保護者や同僚から厚い信頼を得ている。特に道德教育と英語教育については、その熱心な指導や教科研究において顕著な実績があり校内外より注目されている。

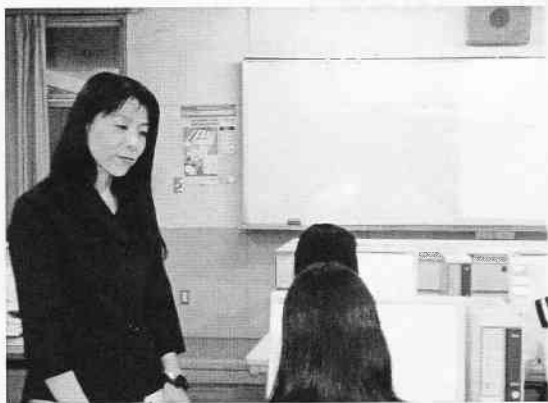


「笑顔で道德の授業を行う竹内教諭」

道德教育では授業を校内外に毎回公開するとともに、授業を録画して自ら授業分析を行い、その記録を全職員に配付することで道德教育のレベルアップに大いに貢献している。

また、英語教育では読むことと書くことを徹底的に行うことで基礎力を身に付けさせるとともに、独自のノート指導を継続することによって英語の学び方を習得させ、生徒の英語への苦手克服を達成した。その研究実践は地区の教育研究論文で特選を受賞するなど高く評価され、平成24年度には東海北陸公立中学校英語教育研究会愛知大会で運営委員を務めている。

○県立大府高等学校 教諭 菊川 恵 (名簿番号 82)



「情報機器の授業で生徒を指導する菊川教諭」

平成17年度から平成20年度まで、愛知県高等学校家庭科研究会技術研究部専門委員として家庭科技術検定(食物)の技術指導や評価の在り方など全県の家庭科教育に貢献した。

平成21年度から平成23年度まで、学年主任としてリーダーシップを発揮し、学習指導や生徒指導、進路指導など精力的にこなした。特に進路指導では、生徒の進路目標の達成のため従来の方法にとら

われずさまざまな工夫を凝らして成果をあげた。

現在は、生活文化科の学科主任として、全国産業教育フェアの取りまとめや全国高等学校家庭クラブ研究発表大会の指導を行っている。また、愛知県高等学校家庭科研究会技術研究部専門委員としての指導や愛知県家庭科研究会専門部会の運営及び紀要の取りまとめなど、全国や愛知県の産業教育に携わり幅広く活躍している。

## 愛知県教育委員会教員表彰実施要綱

### (趣旨)

第1条 この要綱は、優れた教育活動に取り組む教員を表彰することにより、県内の公立学校及び公立幼稚園の教員の意欲を高め、資質能力の向上に資することを目的とし、愛知県教育委員会が行う表彰の実施について必要な事項を定める。

### (被表彰者)

第2条 被表彰者は、愛知県立の高等学校及び特別支援学校の教員並びに市町村（名古屋市を除く。）立の小学校、中学校とその他の学校に勤務する愛知県教育委員会に任命権が属する教員並びに市町村（名古屋市を除く。）立幼稚園教員であって、次の各号のすべてを満たす者とする。

- (1) 現に管理職ではない教員であり、推薦年度の4月1日現在において、教職経験が10年以上あり、かつ、年齢が35歳以上の者
- (2) 次のいずれかに該当する者
  - ア 創意工夫ある教育活動により、顕著な成果をあげた者
  - イ 使命感を持って教育活動の改善に取り組み、信頼が厚い者
  - ウ 地道な教育活動を継続して行い、他の模範となる者
- (3) 県立学校（豊橋市立豊橋高等学校、瀬戸市立瀬戸養護学校及び豊田市立豊田養護学校を含む。）においては校長、幼稚園、小学校及び中学校においては市町村教育委員会教育長の推薦が得られた者

### (表彰選考会議)

第3条 表彰の適正を期するため、表彰選考会議を設置する。

- 2 表彰選考会議には、会長、副会長及び委員を置く。
- 3 表彰選考会議の委員は、愛知県教育委員会教育長が命ずる。会長は教育次長、副会長は管理部長をもって充てる。
- 4 表彰選考会議は、被表彰者の選考を行う。

### (被表彰者の決定)

第4条 校長又は市町村教育委員会教育長から愛知県教育委員会に推薦された者のうち、校長又は市町村教育委員会教育長の作成した推薦書に基づき、表彰選考会議の選考を経て、愛知県教育委員会教育長が決定する。

### (表彰の方法)

第5条 表彰は、愛知県教育委員会教育長が表彰状を授与することにより行う。



2 表彰は毎年1回行うこととする。

(庶務)

第6条 愛知県教育委員会教員表彰に関する庶務は、愛知県教育委員会教職員課において行う。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の実施に必要な事項は、愛知県教育委員会が別に定める。

附 則

この要綱は、平成19年9月3日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年7月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成22年7月1日から施行する。